

【竹原市 1人1台端末の利活用に係る計画】

1 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末の利活用をととして、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、学習指導要領で求める「主体的・対話的な深い学び」を実現していく。

また、竹原市教育ビジョンの基本的方針として掲げている「確かな学力」の向上に係る取組みである「ICT教育の推進」のため、一斉学習・個別学習・共同学習のそれぞれの学習場面や学習プロセスにおいて ICT 機器を効果的に活用し、一人一人の児童生徒の実態に応じた学習を行うことで、持続可能な社会の担い手となるために必要な資質・能力の育成を図っていく。

2 GIGA 第1期の総括

GIGA 第1期の取り組みとして、令和2年度に児童生徒用の GIGA 端末の導入及び校内ネットワーク環境の整備を行い、令和3年度に教職員用の GIGA 端末の導入を行った。

また、電子黒板等の周辺機器やデジタルドリル及びデジタル教科書を導入し ICT 教育を活用した教育に資する環境整備に取り組んできた。

しかし、GIGA 端末導入後、年数が経過するとともに、端末の破損や学校ごとの端末の活用の差などの課題が目立つようになった。

第1期における機器の選定における反省を踏まえ、第2期においては、堅牢性を担保した上で、情報活用能力等、児童生徒が自ら学ぶための「学び方」を身に付け、発揮できるよう教員の授業観の転換を図る研修の実施や、取組の共有化が必要である。

ネットワークアセスメント等の実施により、通信の改善は図られているが、まだ十分とは言えず、現状の把握や阻害要因の検証改善を進める必要がある。

3 1人1台端末の利活用方策

上記「2 GIGA 第1期の総括」で記載のとおり、GIGA 第1期で導入した端末については、経年劣化等により起因する諸問題が生じており、日常的な授業等の利活用に支障が出かねない状況である。

こうしたなか、より高度な ICT 環境下での教育を推進し、1人1台端末環境を引き続き維持するため、令和8年度に全児童生徒分に予備機を合わせた 1,259 台の端末更新を行う。

また、以下のとおり端末の利活用目標を掲げる。

(1) 1人1台端末の積極的活用

研修や市内各校における ICT 活用教育推進リーダー間での情報共有の場を作っていくことで、各学校の端末活用に関する課題を解決し、どの学校においても積極的に端末を活用できる環境を作る。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

これまでも行ってきた学習支援ソフトやデジタルドリルについて、「調べる」「発表・表現する」「やりとりする」「ふりかえる」という授業場面に応じた端末の活用を進めることで、個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る。

(3) 学びの保障

日常の授業で端末をより効果的に活用することはもちろんのこと、「誰一人取り残さない学びの保障」に向けて、不登校や特別支援、日本語指導など、様々な困難を抱える児童生徒に対する支援として、多様な場面で ICT を活用していく。